

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：

消化管腫瘍や消化管出血既往を有する患者における WATCHMAN® デバイスを用いた経皮的左心耳閉鎖術の有用性の検討

1. 研究対象者および研究対象期間

2018年4月1日から2022年12月1日に消化管腫瘍または消化管出血既往を有し、岐阜県総合医療センターでWATCHMAN®デバイスを用いた経皮的左心耳閉鎖術を施行された患者様。

2. 研究目的・方法

WATCHMAN®デバイスを用いた経皮的左心耳閉鎖術(Left Atrial Appendage Occlusion;LAAO)は心房細動患者における脳梗塞予防目的に考案されたカテーテル治療であり、本邦では2019年9月に保険承認された。LAAO後は脳梗塞の発症リスクを抗凝固薬と同等に下げながら抗凝固薬を中止する事が可能とされている。HAS-BLEDスコアが3以上の患者や出血学術研究協議会(BARC)のタイプ3に該当する大出血の既往を有する患者など出血の危険性が高い患者が適応基準となっている。消化管腫瘍や消化管出血既往を有する患者においてLAAO後に抗凝固薬を中止することが消化管出血の発症予防に有用であるか明らかにすることを目的とした。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往症、併存疾患、内服薬、術後消化管出血発症の有無、術後脳梗塞発症の有無、LAAOによる手技偶発症の有無など。

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 消化器内科 小澤 範高

電話番号:058-246-1111